

令和6年度7月教育委員会 会議録

開催日時		令和6年7月23日（火） 15:00～17:05
開催場所		早島町町民総合会館 2階 集会室
出席者	委員	白神敬祐教育長、栗坂祐子委員、市橋晃委員、岡本善弘委員、加藤和子委員
	事務局	吉見一成学校教育課長、芝原孝典生涯学習課長、貝原丈雄課長補佐
会議次第		1 開会 教育長あいさつ 2 協議 （1）早島町町民総合会館管理運営規則の一部改正について （2）早島町と株式会社F.Hスポーツクラブとの包括協定締結後の動きについて （3）その他 3 連絡 4 閉会
会議資料		
傍聴者		なし
会議録作成者		貝原丈雄

会議内容

1 開会 教育長あいさつ 白神教育長：梅雨明け前から猛暑が続いていました。気象庁は18日に、10年に1度レベルの高温が予想される場合に発表される、高温に関する早期天候情報を発表していました。今後も熱中症対策が必要で、体調管理が非常に難しい日々が続くのかなと思います。コロナが流行気味だという報道もあります。 先週の金曜日（19日）に、幼稚園・小学校・中学校では、1学期の終業式がありまして、夏休みがスタートしています。夏休みになってから、県内でも水難事故がありました。保護者の責任もあるのかなと思いますが、社会や地域全体で見守っていくことも必要なのかなと思います。 早島町では昨日、青パトの夏休み夜間巡回活動の出発式があり、関係の皆様方のおかげで、子ども達が無事に充実した夏休みを終えて、また2学期も元気に登園登校してくれればなと願っています。 ファジアーノとの包括協定締結式を7月4日に行いました。大谷さんと町長で

調印をして、テレビや新聞に出ました。教育委員会としましては、今年度の大きな目標の1つがクリア出来たということなのですが、来年の4月1日から指定管理が始まります。それまでのことが非常に大切で、後から少し説明させていただきます。

株式会社LITALICOとの包括連携協定ですが、早島町が昨年度から3年間、県教委から研究指定を受けている、特別支援学級担任専門性向上事業でお世話になっている会社で、現在、包括連携協定の協議を進めていて、報道発表も考えています。

岡山教育事務所管内教育長連絡会議が19日に開催されました。(資料説明)
今日の教育委員会は、中学校の教科書採択の件もありますので、慎重にご審議頂ければと思います。

今申し上げたことで何かございますか。

加藤委員：働き方改革を一番に感じています。ご夫婦で小学校の先生をされている方が近所にいるんですが、朝の8時過ぎに、ご主人がお子さんを保育園に預けて仕事に行き、奥さんが早く帰って来る。これが働き方改革だなあ、核家族でもお子さんを見てあげれる。学校関係の方でも自治会の役をされたり、地域に入っていけることにも、働き方改革の影響で、良い効果が出ているなと思います。

白神教育長：色々な所で働き方改革に取り組まれていて、欠席連絡も電話ではなくフォームですとか、会議も連絡事項だけなら簡単にして、共有の所に時間を割こうとか、ペーパーレスにしようとか、ワークライフバランスというか、先生方には、しっかり子ども達に関わって頂けるような時間も確保して、教育の質をあげていきながら、結局子どもの為になるんですみたいなことで、皆さんにはご理解をということをやっているところなので、自分の自由な時間に、地域の活動や、趣味や子育てなどにも時間を使えるので、先生方はブラックなイメージもついてはいますが、一方では、教職調整額を上げる話など、待遇面の改善と共に、働き方改革を進めていくことで、優秀な先生方が教職に就いて頂けるのかな。最初なかなか進まなかったのが、ICTとか使いながら最近大分進んできたのかな。

岡本委員：吉備中央町の9校が3校になった減り方にビックリしたんですけど、きれいな校舎や運動場がなくなっていくんですね。今もそうなんだろうが、子ども達をバスで送り迎えするんでしょうね。

2 議事・報告案件

(1) 早島町町民総合会館管理運営規則の一部改正について

【資料あり】

白神教育長：これについて原案の通り承認をして頂けますでしょうか。それでは承認頂いた

ということで、ありがとうございました。

(2) 早島町と株式会社F. Hスポーツクラブとの包括協定締結後の動きについて

【資料なし】

吉見課長: 部活動の地域移行というのは、これまで学校教育の一部であった部活動が、学校教育から切り離されて、社会教育に移る。社会教育が受け皿となり、各地域クラブなどの地域に移ってくることを地域移行と呼びます。早島町での地域クラブの立ち上げにあたり、F. Hスポーツクラブにもご協力頂くことになっています。現時点では、サッカー部が地域のサッカークラブとして立ち上がるわけですが、そこに、ファジアーノの専門性を持った指導者を一人派遣してくださるということになっています。今はまだサッカーだけですが、これから少しずつサッカー以外の種目についても、ファジアーノの専門性とかクオリティ、ノウハウを提供して頂ける部分については、どんどん取り込んでまいりたい。ただ、20年指定管理期間があります。段階的に、許可できる部分を許可していくつもりで考えています。部活動の地域移行をこれから立ち上げていくにあたり、この1ヶ月間で、学校教育課で取り組んだことですが、まず、今まで指導して来られた学校の先生方に、早島町教育委員会としての地域移行の進め方、考え方などを説明しております。先生方からも、概ね好印象と言いますか、前向きに捉えて頂いていると思います。先生方のご意見ご協力を頂きながら、着実に進めていきたいと思います。今月に入って、生徒向けの説明会も行いました。これまでの部活動は放課後すぐ始まりますが、今の部活動は昔の部活動とは違って、練習時間がだいたい平均2時間程度と縛りがあります。休日も週に2回程度は部活動を休みなさいという縛りも出て来ています。学校教育の中でやりますと、平日2時間という縛りはあるんですが、それより早く日没が来れば、そこで切り上げて家に帰らなければいけないということが現実になりました。冬場なんかは練習したくても、5時過ぎたら暗くなるので、正味1時間くらいしか出来ない。夏場は、昔はそれほど考えなくてもよかった熱中症対策が出て参りまして、放課後はじめようにも気温が高すぎてすぐに活動が始められない。気温が下がって涼しくなるのは日没なので時間が取れない。色々な問題を抱えています。地域移行になると、日没という縛りを気にしなくてよくなる。例えば、中学校の体育館を使う部活動だとすると、男子バスケがフルコートを使って4時から6時の2時間使えて、その後女子バスケが6時から8時の2時間使う。与えられている時間も場所も最大限使って、十分に自分が好きな競技に打ち込める。これがこれから早島町が目指す地域クラブですよという様な事で、生徒に説明させて頂きました。8月8日には、保護者向け説明会も行う予定です。それに先立ち、その内容を議会に説明してくださいと議員さんからリクエスト頂きましたので、7月30日に、議会向け説明会を行います。我々の説明を、議員さんも一緒になって町の皆さんにご説明頂けると思いますの

で、バックアップして頂ける説明会になるように、資料を準備しています。後々は、動画としての説明資料も準備しようかと思っています。その後は、生涯学習課と協力して学校開放。今、早島町の学校開放の仕組みというのは、学校教育で使わない時間帯・曜日の学校施設を一般に開放する、運動場と体育館と武道場だけなんです。部活動の地域移行で、建前としては地域で使うということになるので、今開放している施設に加えて、音楽室とか、美術室の様な、校舎の中の施設を開放施設に加える必要があるだろうと想定しています。その関係条例の改正などの準備も、年度内で行う予定にしています。

芝原課長：生涯学習課は、来年4月からのスポーツ施設等の指定管理者の導入に向けてと総合型地域スポーツクラブの設立に向けて動いています。今、宮山グラウンドを定期利用している団体を中心に、宮山グラウンドが、今年の9月から工事に入りますので、それ以降の利用がどうなるかとかの資料、管理団体に対する説明の資料の2つを、指定管理者と協議をしながら進めています。出来るだけ早く説明会を開きたいと考えています。各施設の使用料や減免規定も、町の財政当局と協議を行いながら、作っていかうとしているところです。管理団体に説明するにあたり、紙の上だけではなく、指定管理者と全施設現場に行ってみようかと思っています。総合型地域スポーツクラブの設立に向けて、細かい決め事などを指定管理者と協議しながら進めていきます。来年の4月以降は、矢尾グラウンドゴルフ場以外の社会体育施設の予約は、宮山グラウンドに新しく創設されるクラブハウス内で機能を持たせることになります。

白神教育長：今の質問について、ご質問などございませんか。

加藤委員：地域に移行すると言うのはこういうことなんだなと。私達の頃は、太陽が見えなくなってきたら早く帰らないといけない、ボールが見えないからと、1時間も練習できませんでしたが、時間をずらして体育館をお借りする。そういうことが出来るんですね。

吉見課長：それを目指しています。ただ、町の人みんなが賛成というわけではなく、始まる時間が遅いのは、熱中症対策や、時間をたっぷりとする目的もあるんですが、指導者の都合もあり、学校教育と切り離されると言うことは、学校の先生が指導者ではなくなるわけで、地域から指導者を工面するということになると、その方も日中はお仕事されている。今の部活動指導員さんなら、学校の先生ではないけど、地域に住まれている方で、学校部活動の指導に協力されている方ですが、その方にアンケートをとってみると、早い方だと仕事が済んで5時からだったら学校に指導に行けるよという方もいらっしゃる、7時ぐらいになるねという方もいらっしゃる。そこに引っ張られて、5時から開始する時間帯もあれば、7時から始まるものもある。そこに少し違和感や抵抗感を持っておられる方も、保護者の中にはおられるだろうと思います。塾と重なっている、夜の8時9時に地域クラブ

が終わって、子どもを一人で帰らすのが不安なんだとかいうご意見もあるかと思っていますけど、他の習い事とか、民間のスポーツクラブも含めて、そこと横並びで我々が立ち上げようとしている部活動地域移行総合型地域スポーツクラブも競い合っていくのかなと。親御さんや中学生や高校生あるいはもっと大人の人にでも、選んでもらえる様な地域クラブに育てていくのが目標なのかなと思っていまして、親御さんにもお子さんにも選んでもらえるものに育てていきたい。

加藤委員：何をするのも、最初は抵抗があるけど、それが確実に地についていったらいいと思います。恐れていては何も出来ない。

市橋委員：これってファジアーノが全部管理するの。

吉見課長：総合型地域スポーツクラブの中の、中学生の部活動から地域クラブに移行してくる部分、その立ち上げは学校教育課で主体的にやる。今はファジアーノさんが具体的に協力してくれるのは、サッカークラブの指導に、サッカーの専門性のある指導者を1人出してください。それ以外は主に施設管理者として、どこのクラブは何時からどこで練習してくださいねという、そのマネジメントの部分を業務として請け負っていただく。

市橋委員：総合型地域スポーツクラブの運営は、ファジアーノさんがするの。

吉見課長：総合型地域スポーツクラブは、社会教育の中の1事業として、教育委員会が立ち上げることになります。

市橋委員：そのマネジメントだけを、ファジアーノがやるの。

吉見課長：今の立て付けはそうです。町が立ち上げて、ファジアーノはまず、クラブマネージャーを派遣してきて、総合型地域スポーツクラブの中に、事務局として常駐させるのを今考えています。

市橋委員：部活が全部なくなって移行するの。

吉見課長：そうです。

市橋委員：部活動の各部が全部ぶら下がり、そこの部活動ではないクラブに参加をみんなするかしないかは子どもが選ぶの。

吉見課長：はい。具体的に言えば、中学校の美術部とかは、地域クラブに移行してもしなくても、結果私たちの活動は変わらないよねというのがあって、土日に活動するわけでもなく、放課後部活として、限られた時間でも美術室でやる現状に、窮屈さや不便を感じていない部活があれば、顧問の先生が付いているその形を、先生も子ども達も保護者の方も望むと言うことで、合意形成が出来るなら、部活として残るのもありますよという選択肢の残し方もしているので、各部活動の指導者と、そこに所属している生徒や保護者の方に、その判断は委ねているんですけど、おそらくほとんどの部活動が地域クラブに移行してくると思っています。

市橋委員：町外からも参加出来るの。

吉見課長：ゆくゆくはそうしたいんですけど、まずスタートアップにあたっては、スモール

スタートで、町内で管理してみて出来るぞと、軌道に乗ってきたところで、町外にも門戸を広げた方が、無難かなと思っています。

市橋委員：そもそも働き方改革の話もあるけど、子どもの数がという話しだとしたら、結果同じ所でやっていたら同じになるじゃないですか。門戸を開かないとチームスポーツは、特に人数が多いものは、ファジアーノってだけで人が来るかもしれないけど。

吉見課長：ファジアーノさんが岡大付属中学に、部活動地域移行で指導者を一人出しています。指導者を派遣する前は、部員が20人くらいしかいなかったらしいんですけど、ファジアーノさんが参画されて、この春、1年生のサッカー指導部員が15人ほど増えて30人以上になった。指導者が一人では見れないので、もう一人必要だという現象も起こったようです。ファジアーノが早島町にやってくるというだけで、サッカークラブに所属したいという希望は多いのかなと思いますが、まずは町内からはじめて、人口減少のフェーズに入っていくと、やはり町境の向こう側から入って頂ける様にしないと、町にある施設を、公費を投じて維持管理する、その大義名分もなくなっていくので、ただ、多すぎではキャパオーバーして窮屈になるので、どう適正な人数で維持していけるか。そこは課題だと思っています。

白神教育長：どういう形で試合に出るか、大会に出るかが大きいのではないかな。地域スポーツクラブとして中体連に認めてもらって、そのクラブで出れますよとなるのか、今まで通り学校単位でいくのか、そこがひとつのあれになるのかなと思います。完全に地域に全部が移行できるかどうかもあるし、今の想定は、来年度の2学期くらいに出来ればいいという感じ。地域スポーツクラブで大会に出ようとしたら、指導者がある程度資格がないとダメだとか、クリアしないといけないこともあり、地域スポーツクラブで試合に出られないことになるなら、どれだけの人が来るかの問題もあるかもしれない。

吉見課長：早島町単独でコントロール出来ることなくて、種目ごとに部活動としてでないと参加出来ない大会もまだ残っていると聞いています。地域クラブとして大会にエントリー出来るかどうかは、これからのルール改正に掛かっていて、まだルールが追い付いていない。

市橋委員：立ち上げるけど部活にするみたいな感じになるんですか。

吉見課長：今の早島町の仕組みは、地域クラブとしての活動は月曜日から金曜日の平日です。部活動としてじゃないとエントリー出来ない種目があるから、土日は、部活動としての仕組みを残そうとしています。

白神教育長：行政が立ち上げたクラブは認められやすいと聞いたので行政が立ち上げる。今年度中に申請は出来ると思うので、受け皿だけは作っておいて、そこへ子ども達を選んでくれるかどうかとか、地域スポーツクラブで出たいのか、学校の部

活動で出たいのか、子ども達や親御さんの選択になるのかなと思います。

加藤委員：子ども達が一生懸命練習しているのに、それを発揮する大会に出られないとかわいそうですもんね。

白神教育長：完全に地域のクラブになれば、外部は完全にOKなんじゃないかな。例えばサッカーなら、部活動としては出ないで、地域クラブで出れることになって、そこに皆入るんだったら、早島町の子だけではなくて、外部の子にも来て頂いて、それで大会に参加出来るならありじゃないかと思います。早島はどちらかと言うと進んでいて、他の所と温度差もありますが、部活動指導員さんが、全ての部に入っていないような学校もあったりするし、合同で部活動として出ている地域の子もいるので、全国一斉にやりましょうというのは、なかなか難しいのかな。指導者をなかなか確保できない地域もあったりするので、一律にはなかなか難しいだろうと思います。指導者がいないというのは、半永久的に続く問題だろうと思うので、全国的に全て地域移行出来て大会が出来るというのは、いつまで経っても難しい課題なのかなと思います。

岡本委員：スポーツのことばかりイメージしていましたが、音楽室や美術室もファジアーノさんが管理するの。

吉見課長：指定管理の対象施設の中には、学校施設は含まれていません。学校施設が指定管理の対象外というふうに、我々が教材に使った指定管理の解説本の中にもあって、学校施設は公の施設ではないので、指定管理できないと捉えていまして、その考え方を当てはめていますが、ファジアーノに管理して頂くのは、早島町で言えば、若宮グラウンド、宮山グラウンド、南グラウンド、矢尾グラウンドゴルフ場、深砂野球場とテニスコート、深砂の公園部分、そこを指定管理の対象施設と捉えて、それ以外は、これまでと変わらず、学校の体育館とか、中央公民館などは今まで通り直営で管理ということになります。

市橋委員：体育館を使う競技はどうなるんですか。

吉見課長：そこは指定管理者と連携しないといけませんが、受付方法は検討中ですが、予約する側の目線で言うと、体育館をとる時と、運動場をとる時の、連絡先が違うのはわかりにくいかなと思うんですが、現状、体育館や学校の音楽室とかは、指定管理者に委ねられない部分なので、そのワンストップの窓口についてはまだ検討中です。例えばICTを使った、スマホの画面ですれば1つの画面でとれるけど、実は画面の向こうの管理者は、我々とファジアーノと両方いるようなのも1つの考え方だろうし、そこは思案中です。

白神教育長：研究課題がまだまだ沢山あるということを認識して頂いて、それを1つずつ潰していく作業をこれからしていく。

岡本委員：進んでいるであろう早島でさえ、こんなに色々出てくるということは、全国の中学校が混乱しているのが現状ですかね。

吉見課長：ほとんどの自治体は、平日は部活動として残し、地域移行を土日からやろうとしていますが、それだと学校の先生方の働き方改革としての効果が薄いイメージで、平日からした方が、より本質をつけるのではないかと取り組んでいます。全国的にも数少ない事例かもしれないです。

加藤委員：早島だからできる形ですね。

吉見課長：うまくいけば小さい自治体のモデルケースになりうるのかなと。

(3) その他

令和7年度使用中学校教科用図書の選定理由の報告及び採択の依頼について

【資料あり】

白神教育長：前と変わったのが5種目ありますが、前と比較した中で、今ここにあがっているものがよりいいと判断されましたので、そういうことも踏まえて、これから時間を取りますので、実際の見本を見て頂けたらと思います。

〔教科書閲覧タイム：約13分〕

白神教育長：ご覧いただいて、来年度使用の中学校教科用図書の選定につきましては、倉敷地区教科用図書採択市町教育委員会協議会で、採択されました種目に対して、そこの発行者の教科書ということで宜しいでしょうか。ありがとうございました。

今までのことで、感想なりご意見などございませんでしょうか。

栗坂委員：ファジアーノの包括協定のことにに関して、保護者向けの説明会を実施されますが、都合がつかない方の為に、また別途資料を準備して頂ける配慮をしていただけているなと思ったので、それを一般の地域住民が見せて頂くことも可能になりますか。

吉見課長：YouTubeにアップするのは経費もかからないし、町でアップした動画も色々ありますので、その中の1つとして載せようかなと。沢山の方に見て頂くことが目的なので、それを見て頂けたら、だいたいの新しい情報はそこにありますという風に出たらいいなと思っています。

栗坂委員：新たに立ち上げることは、色々なご意見もあるので、それも込めて改善していけばいいことなので、お世話になります。

白神教育長：6月の終わり頃に、教員向けの説明会をした時に、他の市町の教育委員会や県教委の方が、ZOOMや現地に来られたりして参加して、他の市町も関心を持って見て頂いている内容なのかなと思います。YouTubeにあげれば、全世界が見られるので、県外の方からもお問い合わせがある可能性もあるかなと思います。

加藤委員：夏休みに入り、ラジオ体操が始まりました。変わったなと思ったのが、昔は、ラジオ体操が終わったら子ども達がその場で遊んで帰っていたけど、今は、お母さんが仕事に行くから早く帰ってご飯を食べて、学童に行かないといけないとか、

子どもの世界も変わっているなと思って寂しく感じる。近所の子が、お祇園様の境内を掃除してきてくれて、普段はやんちゃな子だけど、地域の人が、悪いことを止めるだけでなく、良いことをしたら褒めてもらえる幸せ気分を味わせてあげたい。子どもらしい部分を大事にしながら、夏休みの間になにか伸ばしてあげたいなと思いました。

白神教育長：地域の方が、ラジオ体操の面倒を見た頂くのもありがたいな。子ども達も休みだけど、生活リズムを崩さずやってくれるのもありがたいなと思います。

加藤委員：子どもは地域で伸ばすという言葉はあるんだけど、それはどういうことをしっかりしてあげたい。ラジオ体操の場がそういう広がりになればね。皆さん、されていますか。

市橋委員：うちは、熱中症警戒アラートが出て中止になっています。

加藤委員：激しい時は、テープに撮って7時や8時くらいからやるところがあったりしてね。

市橋委員：全地区、警戒アラートが出たら中止なんだと思っていましたが、ラジオ体操されているところもあったんですね。運営者の判断でやっているんですね。

白神教育長：日陰か日向、風のあるなしでも違うし。

吉見課長：昨日、警戒アラートが出た時の対応を、教育委員会で決めていないのかと、問い合わせを頂きました。環境上下水道課が担当してしまして、警戒アラートには2種類あり、熱中症警戒アラートがここ数日出ているもので、もう1段階上の、熱中症特別警戒アラートが出たら、一律止めて欲しいですとの見解でした。特別の付いていない警戒アラートの時には、ラジオ体操をやるやらないは、地域のご判断に委ねて良いのではないかと。CDを使って8時頃の遅めの時間でも、公民館の中でエアコン付けてやるなら関係のない話しでしょうし、地域ごとに事情や熱量が違うでしょうから、特別ではない通常のアラートの時には、判断は地域にお任せしますということではないのかなと、話しはしています。

岡本委員：実情に合わせて対応していくしかないと思います。若宮では、子供会のお母さん方が、6時半にお世話をするのが大変という悲鳴があがりました。仕事を持っていない人が動きやすいのは確かなので、共催でやっています。同じ会場で、日笠山の方達は日向で、若宮は日陰でやっていたので、昨年から一緒に輪になって50人以上でラジオ体操をやっています。やぶ蚊が出るので、事前に草刈りもしました。

白神教育長：やって頂ける方がいないと続かないので、各地区でやって頂けたら、子ども達にも良い影響が出ると思います。色々ご意見ありがとうございました。

3 連絡

岡本委員：先日、隣のお宅のアメリカから来た子どもが、小学校に5日間、兄弟揃って体験入学しました。ご家族から話を聞きましたが、早島小学校や教育委員会に良くし

て頂きましたと言われていました。こういうことはよくあるんでしょうかと聞かれたので、最近、国際的なことはオープンになっているので、快く受け入れてくれたんだと思いますよと言いました。何か楽しかったことはありましたかと、おじいちゃんに聞くと、子ども達が言ったのは、歩いて登校するのが楽しい。スクールバスでの行き来ではなく、お友達と道草して帰るので、生き物を見つけて興奮して帰ってきたようです。5日間お世話になりましたとおっしゃられていたので伝えておきます。

吉見課長：その他、何かご発言はございませんでしょうか。次回の教育委員会と第1回総合教育会議は、8月30日（金）。会場はゆるびの舎の研修室を予定しておりますので、よろしくお願いします。

4 閉会